

審判講習会 参加報告書

平成 28 年 11 月 7 日

報告者 川村 貴昭

この度参加しました、審判講習会について報告します。

なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	第 12 回全日本社会人バスケットボール選手権大会 兼 第 92 回天皇杯・第 83 回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会 予選
参加者 (報告者)	川村 貴昭 (所属カテゴリー) クラブ連盟
期 日	平成 28 年 11 月 5 日 (土) から 平成 28 年 11 月 6 日 (日)
会 場	岡山県総合グラウンド体育館(ジップアリーナ岡山)
報告① 開講式	■日本実業団連盟審判委員長 針生 淳男 氏より 現行体制でのこの大会は今回が最後となる、大変重要かつ記念となる大会である。 ■日本クラブ連盟審判委員長 谷地 温 氏より ALLJAPAN の予選も兼ねている重要な大会である。我々全員の力で、1 番強いチームを送り出そう!!!
報告② ゲーム	□ゲーム 日時 11 月 5 日 (土) 10 時 00 分～トスアップ ファイサズ岡山 (クラブ連盟 4 位) 対 福島教員 A (教員連盟 1 位) 主審 嶋崎 貴 氏 (関東実業団連盟 A 級審判員) 副審 川村 貴昭 (愛媛県 愛媛県クラブ連盟審判委員長 報告者) 主任 小島 慶子 氏 (S 級審判員 日本クラブ連盟指導担当) ■ミーティング内容 ・プレ・ゲーム・カンファレンス よりよい判定のための 2 人の協力についての共通認識を図った 1、エリア 3 への対応 ⇒トレイル主導で決断して動く、特にダブルチーム等のケースは思い切って行く 2、エリア 5 への対応 ⇒リングに近いプレイ、リングに向かっていくプレイが多く、4 人～6 人とたくさんの人数が密集するので、2 人でアングルを工夫しながら厚く見る 3、リードから見てリングを超えたサイドのプレイ ⇒リード主導で決断して動く、見に行く必要があると感じたら根拠を持っていく、行かないのであればトレイルが少し下がって 1 人で対応する 4、アウトオブバウンズの協力 ⇒丁寧に最後まで見る、見えづらいところは落ち着いてアイコンタクトをして示す 5、その他のレアケースについて ⇒判定の差し違いといったケースなど、お互いがすぐに歩み寄って短い時間で話し合い、処置していく

6、オールコートへの対応

⇒特にリードが協力して、すぐにホームポジションに行かず、待ち構えることも必要

・試合中（オポジット・サイド及びコートサイドでの会話など）

終始落ち着いて試合の展開やキーマンなどの情報共有を図った。気合を持って積極的に判定やコミュニケーションを図る姿を肯定的に受け止めてくださった。素直に見えたものを鳴らしていくスタンスがこの試合にマッチしていると励ましていただき、最後までその姿勢を貫くことができた。

・試合後（主任及びパートナーからのアドバイス）

ファーストコールから、この大会に懸ける姿勢がとても伝わり、好印象だった。チームからのアピールも、懸命に応える姿が印象的だった。試合を通じての判定基準の幅が大きいので、正しい判定やグッドコールがたくさんあるが、幅の大きさがチームからのアピールやストレスにつながっている。アングルのとり方にもっと工夫が必要で、細かい動きを増やしてよりよい位置を見つけることが必要。

⇒次への課題

- ・判定基準の設定のために、シリンダーの概念を今一度強く意識する。
- ・よりよい位置を見つけるための細かい動きを増やす。
- ・1つ1つの判定は間違っていないので、それを1試合一貫して取り組む意識を持つ。

□ゲーム 日時 11月6日（日）12時50分～トスアップ

東京教員 GOODJOB（教員連盟2位） 対 Waioli（クラブ連盟2位 静岡）

主審 長谷川 清司 氏（岡山県ミニ連盟審判委員長）

副審 川村 貴昭（愛媛県 愛媛県クラブ連盟審判委員長 報告者）

主任 嶋崎 貴 氏（関東実業団連盟 A級審判員）

■ミーティング内容

・プレ・ゲーム・カンファレンス

プライマリーの確認、女子特有のプレイについて情報共有、昨日の課題をコートで表現することを話す

・試合後（主任及びパートナーからのアドバイス）

ビデオを用いて、1試合の判定のケースを中心にアドバイスいただいた。悪い手の使い方についての、2人の良い判定を振り返った。（どういうプレイで、どのような位置取りをしたのか）。2人の協力の部分で、リングの右側のプレイをどのように捉えるのかについてアドバイスいただいた。判断材料として、2人で手厚く見る必要があるのか、トレイルが1人で見れるのではないか、マッチアップは試合の中心となるキーマン同士か、どのようなプレイが展開されるのかを予測できているのか、などを教えていただいた。また、あるケースをピックアップし、その判定のよりよい正解は何であったかを3人で振り返った。あとは、ゾーンディフェンスについての見方、アドバイスをいただいた。（マンツーマンディフェンス以上に、空いているスペースをどのように見るのが大事）

⇒次への課題

- ・予測し、どこを見ているのかを明確に示す。
- ・トレイルのペネトレイトを工夫する（下がるだけでなく、横に動く）

報告③
ゲーム

所感

今回、初めての全日本社会人選手権大会に挑戦させていただいた。現行の体制では最後である重要かつ記念となる大会ということで、この場に立てたことに大変感動を覚えた。クラブ、実業団、教員の各連盟の上位チームが一同に会するこの大会は、自分が今までに経験したどの大会よりも試合のレベルが高く、たくさんの学びを得ることができた2日間であった。審判員も、全国各地から第一線で活躍されている方々が集まっていた。先の大会でお世話になった方々との再会、かつて一緒に活動を共にした同世代の仲間との再会、そしてこのたびの新しい出会いは、自分にとって何よりの励みとなった。特に、同世代の仲間の成長した姿は自分にとって大きな刺激となり、身が引き締まる思いである。今後とも、審判技術の向上にむけて努めていく覚悟である。

最後になりましたが、今大会にあたって、このような貴重な機会を与えてくださったすべての皆様のご協力に深く感謝申し上げます、私の報告とさせていただきます。本当に有難うございました。

審判講習会 参加報告書

平成 28 年 11 月 14 日

報告者 池田 隼人

この度参加しました、審判講習会について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	第 12 回全日本社会人バスケットボール選手権大会
参加者 (報告者)	池田 隼人 (所属カテゴリー) 実業団
期 日	平成 28 年 11 月 5 日 (土) から 平成 28 年 11 月 6 日 (日)
会 場	岡山県総合グラウンド体育館(ジップアリーナ岡山)
講 師	
参加者	
報告① ■ ゲーム	<p>■ ゲーム 主審：畑 靖彦 副審：池田 隼人 コート主任：川崎 洋二郎 氏</p> <p>■ 講習内容 及び ミーティング内容</p> <p>APEX(実 5・東海) 対 O55(ク 2・三重)の対戦</p> <p>プレゲームカンファレンスでは、外国人選手がいた為外国人選手への守り方、ポストアップの取り方をどちらかが必ず視野をあてておく事、同じ判定基準で判定するよう確認した。</p> <p>前半序盤では外国人選手がそこまでポストアップからの 1 対 1 がなかった為、リード時あまり右に行くケースがなかったが、2Q からは 1 対 1 が多くなりそのプレーへの対応が遅くなってしまった。</p> <p>ターンオーバーから速攻になるケースで自分はルーズボール中のファールと感じ、チームファールが 5 つだった事も考慮し判定したが、川崎氏にはそのタイミングだとアンスポーツマンライクファールになるので、ファールとして取上げなくても良かったとアドバイスを頂いた。</p> <p>1 試合通して畑氏と同じ基準で判定する事はできたが、相手のプライマリーだと分かっているながらも同じタイミングで吹いてしまうケースがいくつかあり、今後特に意識して気をつけなければいけないなと痛感した。</p>

<p>報告②</p> <p>■ゲーム</p>	<p>■ゲーム 主審：藤原 知也 副審：池田 隼人 コート主任：有澤 優子 氏</p> <p>■講習内容 及び ミーティング内容</p> <p>RBC 東京(ク 1・東京) 対 yamagataKubera(ク 5・山形)</p> <p>プレゲームカンファレンスでは、両チーム同じくらいの高さで特に長身プレイヤーの所をどちらかが視野をあてておく事、後手にならないよう早めの対応でゲームコントロールしていくよう確認した。</p> <p>ゲーム序盤から悪いハンドチェックを細かく判定していく事はできたが、2対2などのオフボールスクリーン等に対応が遅くなってしまう部分がありやり返しなどのプレーが増えてしまった。</p> <p>その後しっかり目をあてていこうと修正したが、悪い位置からクロスコールをしてしまう判定が増えてしまった為、反省では判定は間違っていないが選手も納得するよう良い位置での判定ができるよう、そのような部分も修正すれば尚良かったと有澤氏からアドバイスを頂いた。</p> <p>ゲーム中に修正する力をもっとつけなければと実感した。</p>
<p>所感</p>	<p>1 ゲーム通じての判定基準の一貫性をどのようなゲームでもムラのないよう今後もチャレンジしていきたいと実感しました。</p> <p>相手レフリーの位置を確認して判定する事、悪いプレーだなと感じているのであれば足を運びより良い位置で判定し、クロスコールを無くすよう修正力を養っていきたいと思います。</p> <p>今回このような高いレベルの試合を吹く事のできる大会に参加させて頂いた事に感謝申し上げます。</p> <p>学んだ事を伝えれるよう今後も尽力して参ります。</p> <p>この度は本当に有難うございました。</p>